

## 令和元年第5回（11月）瀬戸内市議会定例会

### 教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

#### ○ 国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」特別陳列について

博物館では、9月14日から10月27日まで、秋季特別展として「一文字と長船」を開催し、この特別展期間中の10月8日から14日まで国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」の特別陳列を行いました。山鳥毛の特別陳列では、子どもたちや多くの市民の方々の鑑賞や応援によって、7日間で5,500人を超える来館者があり、連休には入館制限が必要となる程の盛況となりました。なお、秋季特別展全体では、4小学校1中学校から約280人の児童生徒を含め約11,000人もの来館者があり、瀬戸内市内を中心に作られた日本刀の素晴らしさを県内外の多くの方に知っていただく機会となりました。

#### ○ 山鳥毛里帰りプロジェクトについて

山鳥毛里帰りプロジェクトについては、プロジェクト会議を山鳥毛の特別陳列に合わせて10月7日に開催しました。出席者からは、本プロジェクト実現のための支援や山鳥毛の活用方法等の意見がありました。

また、本プロジェクトを支援するサポーターが集う「山鳥毛里帰りプロジェクトサポーターミーティング」を去る9月27日に開催しました。会では、この秋から実施しています一口佩刀はいとうやアイデアコンテスト等の取組についての周知とともに、クラウドファンディングの取組事例から

クラウドファンディングへの理解の深化、成功へのノウハウなどを学びました。また、サポーター同士で本プロジェクトの実現や実現後のアイデアなどの意見交換を行い、本プロジェクト実現に向けた思いを一つにしました。

11月17日には、公益財団法人佐野美術館理事長の<sup>わたなべたえこ</sup>渡邊妙子先生を講師にお招きし、「日本一華やかな「備前刀」」と題した講演会を開催しました。この講演会は、備前刀の素晴らしさを学ぶとともに、備前刀が地域の誇る歴史文化資源であることを再確認できる機会となり、日本刀への理解を深め、日本刀を地域の誇りに思う人づくりができました。

#### ○ おかやま教育週間について

岡山県では、学校、家庭、地域社会が一体となって「地域の子どもは地域で育てる」という機運を盛り上げるため、毎年11月1日から7日までを「おかやま教育週間」としています。

本市では、各学校園の実情に合わせて、10月1日から11月30日までの期間に、教育週間の活動として授業だけでなく、地域や保護者とのふれあい活動など、工夫を凝らした学校公開を行っています。学校公開は、各学校園の発表の場や地域の方々とのふれあいの場ともなっていることから、学校、家庭、地域社会が一体となって子どもたちを育てている大切な機会と捉えています。

また、児童や生徒が発表や職業体験の場として地域へ出て、活動することで子どもたちの活動を保護者や地域へ発信する取組も継続していきたいと考えています。

## ○ 公民館活動について

10月・11月に中央公民館・牛窓町公民館・長船町公民館の3会場で、瀬戸内市文化祭が開催されました。公民館で生涯学習活動・文化芸術活動を行っている個人・グループの方々による学習や文化活動の成果の展示や発表が行われました。

特に邑久会場の中央公民館では、文化祭オープニングの講演として、国際医療ボランティア組織AMD A理事長の菅波<sup>すがなみしげる</sup>茂氏をお迎えし、「AMD Aの活動を通して」と題し、海外での医療支援活動の現状など貴重なお話を伺うことができました。

また、県下最大規模を誇る菊花展として、第33回備前長船菊花展を10月20日から11月17日まで開催しました。会場には、市内外の菊づくり講座受講者や愛好家87人による158点、777鉢余りの瀬戸内市の市花である菊が見事に咲き誇りました。11月5日からは、夜間のライトアップを行い、夜の幻想美もご覧いただきました。

## ○ 瀬戸内市立美術館について

9月14日から11月10日まで特別展「—驚愕—超絶の世界展」を開催しました。近年、アートの世界では、非常に緻密で写実的な作品が超絶作品として注目を集めています。この展覧会では、絵画・切絵・陶芸などの様々な分野において超絶作品を制作している現代作家7人を取り上げ、合計44点の作品を展示しました。

11月16日から1月19日までは、特別展「驚愕の超写実展 ホキ美術館×MEAM<sup>メアム</sup>（ヨーロッパ近代美術館）」を開催しています。ホキ美術館は日本初の写実絵画専門美術館であり、2010年に開館して以来

写実絵画の魅力を伝え続けてきた写実ブームの火付け役です。一方ヨーロッパ近代美術館は、スペイン・バルセロナにある写実絵画・彫刻専門美術館であり、スペインの現代具象絵画の最新作やスペイン絵画の最前線にある作品を所蔵しています。今回はその両館から計57点の作品をお借りし、展示する運びとなりました。写真よりも実物に近い写実絵画の世界をご紹介します。

美術館では今後も多彩な展覧会を企画することで、芸術文化の魅力に触れる機会を増やし、地域における芸術文化振興の拠点となれるよう取り組んでいきたいと思えます。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和元年11月26日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行